

令和2年6月能代市議会定例会

# 市長説明要旨



令和2年6月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要を御報告いたします。

初めに、新型コロナウイルス感染症の対応についてであります。本市においては、感染者は報告されていないものの、地域経済に与える影響の大きさから、思い切った対策が必要と考え、市の独自施策として、事業継続支援金、子育て世帯臨時特別給付金の上乘せ給付、就学援助の追加認定、能代市奨学金の追加募集、児童扶養手当受給者に対する臨時給付金等を実施しております。

5月11日からは、秋田県行政書士会能代山本支部の御協力をいただきながら、市役所新庁舎大会議室に新型コロナウイルス関連相談窓口を設置し、国の特別定額給付金の申請受付や持続化給付金の申請支援、県の休業要請に伴う協力金や各種支援制度の相談対応とともに、事業継続支援金の受付を行っており、6月5日時点で、窓口での相談件数は延べ389件となっております。

特別定額給付金については、郵送での申請受付を5月13日から開始しましたところ、6月5日時点で、申請件数は22,962件（約94.5%）、給付金の支給は21,211件、46億4,290万円となっております。7月には、申請漏れがないよう、申請されていない方へ勧奨を行うこととしております。

事業継続支援金については、6月5日時点で郵送分も合わせて709件の申請があり、1億2,140万円を交付しております。

仮設診療所の開設準備については、今後、当地域に感染が広がった場合を想定し、県が設置している帰国者・接触者外来のほかに、県の補助金を活用して、ウイルス検査を行う市の仮設診療所の開設準備を進めてまいりたいと考えております。

開設に当たっては、能代保健所や能代市山本郡医師会をはじめ、関係機関の協力が必要不可欠でありますので、開設時期や運営方法等について、引き続き関係機関と協議してまいります。

市といたしましては、適切な感染防止対策に取り組んでいただくよう、今後も市民の皆様への周知に努めるとともに、地域経済の状況に応じ、必要な対策について検討してまいりたいと考えております。

次に、バドミントン女子日本代表選手（A代表）の強化合宿についてであります。7月1日から12日まで、能代市総合体育館を会場に開催されることとなりました。

東京2020オリンピックでメダルが期待される、女子ダブルス世界ランキング2位の福島由紀選手、廣田彩花選手、同3位の地元北都銀行所属、永原和可那選手、

松本麻佑選手、女子シングルス世界ランキング3位の山口茜選手をはじめ、世界ランキング上位の選手が参加する予定となっております。

来年のオリンピックに向けた意識の高揚を図るとともに、世界トップレベルのプレーを間近に見ることができる機会となりますので、今後、小中高生のバドミントンクリニックの開催等について、関係団体と協議してまいります。

次に、投票所の再編についてであります。最近の投票状況は、期日前投票の浸透により、投票総数における期日前投票者数の割合が上昇し、令和元年参議院議員選挙では56.7パーセントに達する一方、投票所における投票者数は減少し、約45パーセントの投票所で100人未満となっております。また、投票管理者及び投票立会人の選任が困難な地域も出てきております。

投票所の再編は、第2次能代市行財政改革大綱にも位置付けられていることから、能代市選挙管理委員会では検討を進めている、との報告を受けております。

次に、能代バスケミュージアムについてであります。6月1日に柳町に移転し、リニューアルオープンいたしました。展示スペースはこれまでの約3倍となり、加藤廣志先生やNBA関連のコーナー等を設置し、充実した内容となりました。

市民の皆様をはじめ、全国の方々に御来館いただけるよう、企画展の開催や近隣商店街等と連携し、引き続きバスケの街のしろの拠点として情報発信に努めてまいります。

地域自治区についてであります。昨年度の庁内検討会議で取りまとめた方針のとおり、今年度末の設置期限をもって廃止することといたしました。

地域自治区の廃止により、二ツ井地域の住所に「二ツ井町」を表示すること及び地域自治区の事務所として二ツ井地域局を設置することの法的根拠が失われますので、市では、こうしたことが地域の皆様の暮らしに不便や不安をきたすことにならないよう、地域協議会等の御意見をお伺いしながら、庁内検討会議において対応を検討してまいりました。

その内容についてであります。住所については、地方自治法に基づく字名変更の手続きにより「二ツ井町」の表示を維持すること。二ツ井地域局については、現在の行政サービス水準を低下させることのない新たな組織体制を構築することです。

今後、関連議案の提出等に向け検討を進めてまいります。

次に、能代市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画についてであります。

令和3年度から5年度までを計画期間とする両計画を2年度末までに策定いたします。

計画策定に当たっては、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査、介護保険サービス事業所調査等の結果を基礎資料とし、第7期計画の自己評価、国の制度改定の動向や活力ある高齢化推進委員会の御意見等を踏まえ、地域の実態に即したものとなるよう努めてまいります。

(仮称) ご遺族支援コーナーについてであります。今後、高齢の御遺族が故人に関する手続きを一人で行うようなケースが増えることが予想されることから、その負担軽減により市民サービスの向上を図るため、専用窓口を設置することといたしました。

同コーナーでは、「漏れなく、早く、簡単に」、手続きができるよう、関係各課と連携して必要な情報を把握し、手続きをワンストップ化するとともに、申請書類の一括作成を行うほか、市役所以外の主な手続きの案内や証明書類の取得も支援するなど、利便性の高いサービスを提供してまいります。

開設時期については、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮しながら、本年10月の開設を目指して準備を進めてまいります。

次に、大館能代空港羽田便の3便化についてであります。本年2月に県、全日本空輸株式会社及び大館能代空港利用促進協議会の三者で、羽田便発着政策コンテストに応募したところ、同空港の利用促進の取組みが評価され、10月から1便追加配分となり、3便化が実現することとなりました。

市といたしましては、今後も、県や同協議会等、関係者と連携を図りながら、さらなる利用促進に取り組んでまいります。

(仮称) イオン新能代ショッピングセンターについてであります。イオングループのディベロッパー部門から、市に対して報告がありました。その内容であります。「建設に向けた実施設計はほぼ終了し、工事の準備を進めているが、新型コロナウイルス感染症の影響でテナントの出店交渉等ができない状態となっている。着工や開店に向けたスケジュールについて再調整し、早めに報告したい。」とのことでありました。

次に、GIGAスクール事業についてであります。昨年12月、国が打ち出した「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒1人に1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、教育ICT環境の充実を図る取り組みが全

国的に進められております。本市におきましても今年度、すべての小中学校の児童生徒に端末を整備したいと考えております。授業において一人一人がインターネットによる調べ学習やプログラミング学習などに取り組む機会を充実させ、子どもたちがこれまで以上に主体的に学び、理解を深めていけるよう支援してまいりたいと考えております。

次に、単行議案について御説明いたします。

能代市市税条例の一部改正は、新型コロナウイルス感染症による影響の緩和を図るため、特例措置を講ずるものであります。

能代市手数料条例の一部改正は、個人番号の通知カードが廃止されたことに伴い、個人番号の通知カードの再交付に係る手数料を廃止しようとするものであります。

能代市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正は、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の省令の一部改正に伴い、放課後児童支援員における資格要件の一部を改めようとするものであります。

能代市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の省令の一部改正に伴い、連携施設の確保に関する基準等を改めようとするものであります。

能代市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正は、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の内閣府令の一部改正に伴い、連携施設の確保に関する基準を改めようとするものであります。

能代市後期高齢者医療に関する条例の一部改正は、秋田県後期高齢者医療広域連合において、新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に傷病手当金を支給することに伴い、市の事務に、申請書の受付を追加しようとするものであります。

能代市国民健康保険条例の一部改正は、新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金の支給に関する規定を定めようとするものであります。

能代市国民健康保険税条例の一部改正は、地方税法施行令等の一部改正に伴い、課税限度額の引上げ及び軽減措置の対象となる低所得世帯の基準の緩和等を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による減免の要件を規定しようとするものであります。

能代市介護保険条例の一部改正は、介護保険法施行令の一部改正に伴い、低所得者の介護保険料を減額するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による減免の要件を規定しようとするものであります。

このほか、物品の取得について提案しております。

次に、令和2年度能代市一般会計補正予算案の概要を御説明いたします。

初めに、補正第4号は、新型コロナウイルス感染拡大の防止及び市独自の追加経済支援対策について補正しております。

歳入の主なものとしては、帰国者・接触者外来設置運営事業費補助金の計上、財政調整基金繰入金の追加及び感染症検査機器整備費補助負担金の計上であります。

歳出は、民生費においては、子育て世帯臨時特別給付金給付事業費（単独分）290万円を追加し、

衛生費においては、感染症検査機器整備費補助金400万円及び仮設診療所準備費1,198万5千円を計上しております。

商工費においては、プレミアム付き商品券発行事業費2億1,527万2千円及びがんばるのしらの商い応援事業費（新型コロナ対策）1,000万円を、

教育費においては、大学生等応援給付金給付事業費7,322万1千円を計上しております。

次に、補正第5号は、これまでに国、県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業は、当面緊急を要するものについて補正しております。

まず、歳入の主なものとしては、介護保険低所得者保険料軽減負担金の追加、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金及び間伐材売払収入の計上、財政調整基金繰入金及び学校施設整備事業債の追加であります。

次に、歳出の主なものについて御説明いたします。

議会費においては、議員報酬等人件費643万1千円を減額し、

総務費においては、コミュニティ助成事業費900万円、久喜沢生産森林組合交付金109万8千円及び（仮称）ご遺族支援コーナー設置事業費181万2千円を計上しております。

民生費においては、地域密着型サービス施設等整備事業費補助金214万2千円及び保育環境改善等事業費685万5千円を計上し、介護保険特別会計繰出金5,809万1千円を追加しております。

衛生費においては、乳幼児健康診査費363万9千円を追加し、

農林水産業費においては、農業水路等防災減災事業費110万円を計上し、林道改良事業費1,432万6千円を追加しております。

商工費においては、地域公共交通活性化事業費148万6千円を追加し、

教育費においては、GIGAスクール事業費9,785万円を計上しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は第4号が3億1,737万8千円、補正第5号が2億723万5千円となり、これを既定予算に加え

ますと一般会計の総額は342億1,110万円となります。

このほか、令和2年度各特別会計補正予算案につきましては、提案の際、詳細に御説明いたしますので省略させていただきます。

なお、常盤財産区管理委員の選任については、後日追加提案させていただく予定であります。

以上、よろしく御審議の上、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げます。